

黒小だより

二海郡八雲町黒岩212番地 Tel 0137-68-2013 FAX 0137-68-2018
e-mail kuroiwa-es@town.yakumo.hokkaido.jp

学校教育目標

強い子ども
考える子ども
働く子ども
明るい子ども

紅と白 ゴールめざして かけだそう

八雲町立黒岩小学校長 長内 克磨

『紅と白 ゴールめざして かけだそう』これが、今年の運動会のスローガンです。

運動会に向けた練習が始まって間もなく、高学年が中心になり作成し、体育館に大きく掲示したこのスローガンを見上げながら、子ども達は練習に励んでいます。

練習が始まって間もない頃、よさこいソーランの練習を見ました。「今年2度目の練習」だというのに、子ども達一人一人の動作が大きくそして俊敏であることに驚かされました。その日は、1名欠席しており、わずか9名での練習だったのですが、不思議なもので、20～30名ほどの子ども達が踊っているのかと思うほどの高い完成度でした。長年踊り続けていると言えばそれまでですが、子ども達一人一人の顔つきはキリリと引き締まっていて、精悍そのものでした。本番での演技を大いに期待しています。

さて、今のところ天候にも恵まれて、順調に練習を重ねてきた今年の大運動会です。

黒岩町内の運動会も兼ねるということで、実行委員を中心に寄付金のお願いに足を運んでいただいたり、地域のために、そして子ども達のためにご寄付をいただいたりと地域・保護者の皆様にも心からのご協力得ていることに、衷心より厚くお礼申し上げます。

体力の低下に伴い、「一層の体力の充実を…」と、いわれている昨今ですが、ここ黒岩小学校の子ども達はこのような心配をすることは無いとも思っています。

子ども達一人一人が、運動会に向けての目標を持ち、本番に向けて取り組むのか、当日どのような思いで臨むのかということがとても重要になってきます。子ども達にとっては、練習の過程も運動会当日も、そして反省もその一つ一つが自らの成長につながる大切な活動になります。また、本校のように児童数の少ない学校にとっては、大勢の前で「発表」するとても良い機会にもなります。

今年、プロ野球では2,000本安打を達成した選手が相次いで誕生しています。今年最初にその偉業を達成した日本ハムの稲葉選手は「2,000本を目標にやってきたのではない。チームの勝利に貢献しようとした結果達成することができた」と言っています。結果には能力、相手、運や偶然などいろんな要素が含まれます。しかし成果には相手、運や偶然はありません。成果の積み上げが能力向上につながり、いろんな要素が含まれてもなお且つ求めるべき結果につなげることが成果の積み上げです。成果の上がる取り組みは自信につながり、その自信は結果につながるのです。結果だけを追い求めるな、ということを教えてくれる言葉だったと思います。

何はともあれ、6月2日の大運動会が子ども達に大きな成果をもたらしてくれることを願っています。



6月の行事予定

1日（金）	運動会前日準備	20日（水）	内科検診（全学年）
2日（土）	黒小町民大運動会	21日（木）	移動図書館
4日（月）	振替休業日	22日（金）	運動会反省会
7日（木）	第1回やまびこ学級（浜松小）	25日（月）	クラブ
11日（月）	児童会活動		
14日（木）	耳鼻科検診（3年生）		
15日（金）	複式児童交歓会（弁当持参）		

黒岩小学校・町民運動会を盛大に

グラウンド中央にそびえる大きな雪山も溶け、子どもたちのグラウンド練習も順調に進んでおります。田中組様には、昨年雪山作りから、今年4月の雪山崩しまで、たくさんたくさんお世話になりました。また、グラウンドの転圧もしていただきました。

さて、昨年度は、震災の影響で9月に運動会を実施しました。今年度は予定通り、6月の実施となります。「黒小だより」が各ご家庭に届くころには、終了しているかもしれませんが、盛大な運動会になることを願っております。

1. 実施時期

6月2日（土）午前10時～

※ 雨天の場合3日（日）に行います。

さらに延期の場合は、9日（土）に行います。

楽しかった修学旅行

5月10日（木）11日（金）2日間、6年生の詩乃さんと勝巳君が修学旅行に行ってきました。楽しかった思い出を作文に書きました。

修学旅行の中で私が楽しかったところは、2つあります。1つ目は、サンピアザ水族館です。きれいな魚がいっぱいたからです。2つ目は、円山動物園です。かわいい動物がたくさんいました。特にオオカミがかわいかったです。

関口詩乃さん

修学旅行1日目でよかったのは、テレビ塔です。理由は、けしきがよかったからです。

修学旅行では、友だちができました。楽しかったです。

2日目では、札幌ドームがよかったです。理由は、けっこう広かったからです。

山田勝巳くん

